

コード	404020301
記入日	H26.6.6

課コード	115
課名	農林課
課長名	下山 透
担当者	犬塚 忠生

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	椿による五島列島活性化特区事業
----------	-----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 28 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	404	施策名称	次世代のしめの可能性を広げる産業づくり	項コード	2
基本事業コード	40402	基本事業名称	つばき産業の育成	目コード	2
事務事業コード	4040203	事務事業名称	椿による五島列島活性化特区事業費	細目コード	1358
関連計画	新上五島町つばき産業振興計画 椿による五島列島活性化特区		法令・条例規則等	長崎県造林事業補助金実施要綱 離島活性化事業費補助金交付要綱	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町民 (椿実油生産者)		(対象指標1)	21,809人 (H25.4.1現在)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・五島列島に数多く自生する椿を地域振興に活用するため「椿による五島列島活性化特区事業」を実施する。 →自生椿林内作業道・運搬道整備事業 (H25~27) →自生椿林改良保全事業 (H25~27) →椿油・実保管倉庫建設事業 (H26~27) →椿加工場建設事業 (H25~26) →椿油・関連商品開発促進事業 (H25~28)	(平成25年度) ・作業道延長L=3,083m ・椿林整備15.08ha ・椿油工場建設1棟241.2㎡	作業道延長	12,300m	25.1%	作業・運搬道整備保全事業	平成27年度
		作業道延長	3,083m	32.1%		平成25年度
		① (達成率分析)	用地交渉がうまくいかず、計画どおりに事業を実施できなかった。			
		椿実倉庫・椿油工場建設	404.4㎡	40.7%	倉庫240㎡	平成27年度
		椿実倉庫・椿油工場建設	164.4㎡	100%	工場164.4㎡	平成25年度
		② (達成率分析)	椿油工場建設は事業計画どおりに進捗したが、椿実倉庫は計画見直しにより建設を見送った。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
・全域に自生し、日本一の本数を誇る島のシンボリックな地域資源である椿の実を活用して椿油を生産しているが、人口減少や過疎化、高齢化による森林の荒廃や耕作放棄地の拡大、椿実採取者の高齢化に伴う担い手不足などにより関連製品の開発と販売・マーケットが進んでいないなどの課題が山積している。このため特区により、椿油の増産のみならず椿の木全てを有効に活用して地域が一体となり「椿関連産業」の活性化に取り組み、離島の活性化の起爆剤として地域に根ざした地域密着型の6次産業化を目指すことを目的としている。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		自生椿林の利用率	3.0%	30.0%	利用率÷計画利用率	平成28年度
		自生椿林の利用率	0.03	300.0%		平成25年度
		① (達成率分析)	椿関連産業の活性化への取り組みにより利用率の向上を図った。			
		椿油・関連商品の売上額	0.38億円	26.7%	売上額÷計画売上額	平成28年度
		椿油・関連商品の売上額	0.38億円	64.4%		平成25年度
		② (達成率分析)	地域おこし協力隊2名を配置し商談・販売等を行い、椿油の売上額が31,898千円及び椿関連商品の売上額が6,348千円となった。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① m	12,300	3,083		9,600	3,083	900	900		
	② ㎡	404.4	164.4		404.4	164.4	0	0		
成果指標	① %	10.0	3.0		1.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
	② 億円	1.42	0.38		0.59	0.38	0.81	1.13	1.42	
総事業費 C (A+B)	千円	383,200	179,815		53,100	179,815	243,100	83,100	3,900	
直接事業費 A	千円	377,600	178,415		51,700	178,415	241,700	81,700	2,500	
人件費 B	千円	5,600	1,400		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	
内	従事職員数	人	0.8	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
訳	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円	171,182	84,406		84,406	124,966	44,966	1,250	
	県補助金	千円		2,718		2,718				
	起債	千円	173,900	76,200		20,900	76,200	115,900	35,900	1,200
	その他	千円								
訳	一般財源	千円	38,118	16,491		32,200	16,491	2,234	2,234	1,450

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	第1次産業の振興、雇用の確保、地域経済の活性化を図ることで、本町が抱える課題解決に繋がるため必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	潜在的資源の発掘が目に見え、地域住民の産産業振興の意欲に繋がり、商品開発・販売促進が図られる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	本町にある地域資源の中で、特産品として数少ない資源であるとともに樺の木全体の有効活用に更なる充実を図ることができる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	町民参加（近場の樺林整備）等により町全体の活性化に繋がり、将来的には事業量以上の成果に繋がる。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	町全体はもとより、五島列島一体となって取り組んでいるため、他の手法には代えられない。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	*****平成25年度新規事業*****
	今後、課題に向けた改善策	継続的な協力隊の人員配置を計画する。

2 次 評 価	次世代のしまの可能性を広げる産業づくりとして、地域資源を活かした樺関連産業の活性化に向け、森林環境の保全、耕作放棄地の解消、新たな商品開発と販路拡大など、日本一のつばきの島にするため、住民や関係機関等との連携を密に一体となって取り組むこと。
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。